

【A グループ】

<p>男女共同参画社会 実現に向けた課題 の解決策</p>	<p><b>○家庭</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女にこだわらず、幼少期から家事をする習慣作り</li> <li>・家事手伝いをする</li> <li>・社会保険の被扶養者をなくす</li> <li>・DV 加害者へのフォロー（窓口）</li> <li>・育児の軽減＝働き方改革、フレックス制度の導入</li> <li>・意識改革←（家長性の名残がある）←テレビ等で取り上げる</li> <li>・選択的夫婦別姓の推進</li> </ul> <p><b>○学校</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダーレスの制服の作成、制服やユニフォームを選択可能にする</li> <li>・学校制服の自由の選択制</li> <li>・名簿を男女混合に</li> <li>・男女混合名簿を用いる</li> <li>・女性の地位向上のため、学校でのお金の教育を</li> <li>・男女問わず（受験等の）合否を決める</li> <li>・勉強をしたい人がしやすい環境（づくり）</li> <li>・学級委員と副ではなく、学級委員を2人またはなくす</li> <li>・PTA 役員を強制的に男女同数とし、年変わりする</li> <li>・男性がスカートを履いてもいい</li> </ul> <p><b>○地域</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長は女性のみとする</li> <li>・防災：ソフト面（審議会等、当て職で委員を決める人）</li> <li>・消防団員は男女同数</li> <li>・地域力の大切さを啓発</li> </ul> <p><b>○社会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在職年数ではなく成果で評価し、中途採用者も同じとする</li> <li>・どんどん仕事を辞める</li> <li>・もっとみんな転職する</li> <li>・男女の採用率、収入の差を成果による収入の差とする</li> <li>・採用数は男女同数とする</li> <li>・職場復帰プログラムの充実</li> <li>・能力評価</li> <li>・職務経験が同じなら差をつけない</li> <li>・管理職を強制的に男女同数としてしまう</li> <li>・家庭の急な用事でも休みやすい職場の体制づくり</li> <li>・男女の年間雇用に下限を設ける</li> </ul>
---------------------------------------	---

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>• クォーター制（政策決定の場の女性参加）（女性の管理職）</li><li>• 女性起業者への銀行の貸付に補助金を出す</li><li>• 起業したい人がしやすいような体制（補助金等給付）</li><li>• 仕事の補助的役割＝責任が軽いというイメージを変える</li></ul> |
|--|--|

↓

○トップダウン（で変えていく？）

↓

◆GEGs（Gender Equality Goals）の実現

【Bグループ】

<p>男女共同参画社会 実現に向けた課題 の解決策</p>	<p>○学校</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・男女共同参画について学ぶ機会を設ける</li><li>・意識を変えるための教育</li></ul> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・男女共同について家族で話し合う宿題を出す</li></ul> <p>↓</p> <p>○家庭</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・家事を協力してやるという意識を持ち、その姿を子どもたちにも見せる</li><li>・(男女の)役割について、(家族で)話をする</li><li>・家にいる時間を有効に使う</li></ul> <p>↓</p> <p>○地域</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・男女関係なく、積極的に地域活動に参加するようにする</li><li>・一定の年齢までに父親を含めた健診行事を行う</li><li>・親子で参加できるイベントや行事を企画する</li><li>・「健康マイレージ」の男女共同参画版を作って、社会参加の機会を増やす</li></ul> <p>↓</p> <p>○社会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・産休、育休の取得の有無に関係なく、立候補、勤務評価により管理職への希望を出せる制度</li><li>・育児休暇を取りやすく、復帰しやすい制度、職場の雰囲気づくり</li></ul> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆夢の選択肢が増える</li><li>◆男女の壁をなくす</li></ul>
---------------------------------------	--

【Cグループ】

男女共同参画社会  
実現に向けた課題  
の解決策

○家庭

- 男性が家事-育児をする日を決める
- 幼少時からの家事等を手伝うことによって、男女差がなくなるのでは？
- 胎児のときからパートナーと一緒に、またはパパだけの教室（離乳食づくり、幼児食づくり等）、身近で一緒に家庭を作る

○学校

- ○○男子高校、○○女子高校等、男子・女子、男・女を抜いても良いのでは？
- 学校のPTA 役員を男女同数としては？（特に会長、副会長男性で固定となっている学校が多い）
- PTA 母親代表という名前を作らない。“とくい”なことを探して役職を充てる
- 学校では子どもの大きな声が聞きたい

○地域

- 区長等の代表、実際に行動・活動される方の代表名にさせていただく
- 地域では子供も一緒に参加し、役員も一人に絞らず共有する
- 区長は、以前は気配りがあったが、現在は惰性的になっている
- 組長の仕事がなくなり、つながりがなくなった

○社会

- 制度として賃金格差であったり、育休・産休制取得時の補助等を行い、格差をなくす
- 男女比を均等にする
- 制度（育休・産休）の利用を強制する
- 育児休業（休暇）、産前産後：男性・女性が同一条件で取得できるようにする（代替の職員配置）
- 組織内での男女の割合を数値化（部、課）（例：1/3、1/4以上）
- 権限のある方は公平に努めてほしい
- お茶出しは男性でも良いのではないか。
- お茶出しは女性という観念が抜けていない